

## 処遇改善加算・事業費総額の計算方法記入例

外出・交流サービス(自己負担1割の場合)

要支援1の利用者が、外出・交流サービスを月4回利用の場合

同一建物減算なしの場合

【基本部分】

週1回程度の利用が必要な場合(1月の中で全部で4回まで)

外出・交流サービス週1回(1回につき303単位) → 同一建物減算なしの場合

$$303\text{単位} \times 4\text{回} = 1,212\text{単位}$$

【加算】

外出・交流サービス処遇改善加算の単位数 [加算Ⅱ週1回] → 同一建物減算なしの場合

$$13\text{単位} \times 4\text{回} = 52\text{単位}$$

【事業費総額】

→ 同一建物減算なしの場合 + 外出・交流サービス処遇改善加算Ⅱ週1回

$$(1,212\text{単位} + 52\text{単位}) \times 10 = 12,640\text{円}$$

保険請求額(同一建物減算なしの場合)

$$12,640\text{円} \times 90\% = 11,376.0$$

$$= 11,376\text{円} (1\text{円未満の端数がある場合は切捨て)}$$

利用者負担額(同一建物減算なしの場合)

$$\text{事業費総額}(12,640\text{円}) - \text{保険請求額}(11,376\text{円}) = 1,264\text{円}$$

【減算】

同一建物減算ありの場合

【基本部分】

週1回程度の利用が必要な場合(1月の中で全部で4回まで)

外出・交流サービス週1回・同一(1回につき209単位) → 同一建物減算ありの場合

$$209\text{単位} \times 4\text{回} = 836\text{単位}$$

【加算】

外出・交流サービス処遇改善加算の単位数 [加算Ⅱ週1回・同一] → 同一建物減算ありの場合

$$8\text{単位} \times 4\text{回} = 32\text{単位}$$

【事業費総額】

→ 同一建物減算ありの場合 + 外出・交流サービス処遇改善加算Ⅱ週1回・同一

$$(836\text{単位} + 32\text{単位}) \times 10 = 8,680\text{円}$$

保険請求額(同一建物減算ありの場合)

$$8,680\text{円} \times 90\% = 7,812.0$$

$$= 7,812\text{円} (1\text{円未満の端数がある場合は切捨て)}$$

利用者負担額(同一建物減算ありの場合)

$$\text{事業費総額}(8,680\text{円}) - \text{保険請求額}(7,812\text{円}) = 868\text{円}$$